

十五年間。(参考)「徳川時代」ともいう。

えとつこ (江戸つこ) (俗) 江戸で生まれ、江戸で育った人。(参考) 東京、特に下町で生まれ育った人もいう。

えどのかたきをながさきてらつこ (江戸の敵を長崎で討つ) (ことわざ) 思いがけない場所やとき、または思いがけないやり方で、しかもえいとする。語源 江戸と長崎が遠くはなれたところにあることから。

えとびく (江戸幕府) (俗) 一六〇三年に徳川家康が将軍になって江戸にひらいた。武士による最後の幕府「徳川幕府」ともいう。

エナメル (俗) 金属や陶器などの上にぬり、さびをふせいだり美しくしたりするもの。ほうろう。
▼英語 enamel

エナメルしつ (エナメル質) (俗) 歯の表面をおおっているかたい部分。ほうろう質。
エナメルせん (エナメル線) (俗) 銅線にエナメルをぬり、表面から電流が流れ出ないようにした電線。

えにかいたもち (絵に描いた餅) (慣用句) 計画や想像だけで、実現の可能性がないこと。たとえ。例 そのアイデアは絵に描いた餅だ。
えにつき (絵日記) (俗) 絵を中心に書いてた日記。例 絵日記をつける。

エヌ (N・n) (俗) アルファベットの十四番目の文字。

エヌエイチケイ (NHK) (俗) 日本の公共放送局。正式な名前は日本放送協会。(参考) Nippon Hoso Kyokai の頭文字を合わせ

たもの。

エヌきよく (N極) (俗) 方位磁石を自由に回転できるようにしておいたときに、北の方(North)をさすのはし部分。(参考) S極。

エヌジー (NG) (俗) 映画やテレビなどで、さつえいがうまくいかないこと。また、そのフィルム。(参考) 「だめ」「よくない」の意味を表す言葉。(参考) 英語の no good の略とされるが NG と書いても外国では通じない。

エヌピーオー (NPO) (俗) ↓ 巻末「アルファベット略語集」156ページ。

エネルギ (俗) 物がどのくらいの仕事をやるかという能力。例 高いところからおちる水のエネルギーで電気をおとす。(参考) あることをしようとする。元気。▼ドイツ語

えのぐ (絵の具) (俗) 絵に色をつけるために使う物。(参考) 送りながに気をつける。

えのころ草 (俗) イネ科の植物。夏から秋にかけて緑の花が穂の形にさく。(参考) 「えのころ」は、犬の子。花の穂がふさいさとして犬のしっぽに似ているところから、名前がつ



えのころ草

いた。また、ネコをからかうのに使ったことから「ねじやらし」ともいう。(参考) ↓ 図。

えはがき (絵葉書) (俗) あて名を書く面の裏に、絵や写真のあるはがき。

えばなし (絵話) (俗) 昔話などを絵にかいたもの。また、絵入りの昔話などの本。絵物語。
えび (俗) 海や川にすむ、かたいからとおわれたい動物。あしは十本、種類が多い。(参考) 海老。
えびがさ (絵日傘) (俗) きれいな絵やもようのある日かさ。竹のほねに紙をはってつくる。

えびがに (俗) ザリガニのこと。

えびす (俗) 昔、天皇にしたがわなかった東北地方の人々をさしていた言葉。(参考) ② 都から遠いところに住んでいる人。やばい人。(参考) ③ らんぼうな武士。(参考) 昔、京都の人からみて、関東地方の武士のことをさしていた。

えびす (恵比寿) (俗) 七福神の一人。漁業や商売の神。えびをかぶり、にこにこして、つりざおとタイをもったすがたでえがかれる。(参考) ↓ 558ページ。七福神。(参考) ↓ 図。

えびすがお (えびす顔) (俗) 七福神のえびすのよう。にこにこした顔つき。(参考) ↓ 図。えびすがお。てやうてやう。

エピソード (俗) ① (話や物語などの) とちゅうにさしはさむ、短い話。その話。(参考) ② (ある人のかくれた一面を知らせるような) ちよつとしたおもしろい話。いつ話。(参考) 英語 episode

えびてたいをつる (えびてたいを釣る) (ことわざ) わずかなものをもとにして、ねうちのあつものを手に入れること。たとえ。(参考) 「え

びたい」ともつう。

えひめけん (愛媛県) ④ 四国の北西部にある県。県庁所在地は松山市。↓ 916 ページ・都道府県 (図)。

エピソード (小説・戯曲などの終りの章の物語の終わり) ④ プロローグ。▼ 英語 epilogue

エフ (F・f) ① アルファベットの六番目の文字。② カ氏温度を表す記号。「F」。

エフエム (FM) ① 音声の強弱を周波数をかえておく方法。② 「FM放送」の略。

エフエムほうそう (FM放送) ① 「エフエム」を使ったラジオの放送。音質がよい。

えびく (絵筆) ① 絵をかくのに使う。

えびく (絵踏み) ① 1153 ページ・ふみえ。

エプロン (西洋ふうの) ① 前かけ。▼ 英語 apron

エベレスト (ヒマラヤ山脈にある、世界で一番高い山) ④ 標高八八四八メートル。チベット語名はチョモランマ。▼ 英語 Everest

えほし (昔) ① 前になった男子が「けたかぶり」の種類の多い。▼ 参考 今では、神主や相撲の行司などがかぶる。▼ 漢字 烏帽子。↓ 図。

エポナイト (生ゴムに油を加えて熱してつくられる、かたいゴム。黒くてつやがある。電気をとおさないなどの性質がある。) ▼ 参考 「硬質ゴム」「硬化ゴム」ともいう。▼ 英語 ebonite

えほん (絵本) ① 絵を中心にした本。

えま (絵馬) ① 願いごとをするときやそれが

かなったと

きに神社や

寺におさめ

る額。

▼ 参考 もと、馬のかわりとして、馬の絵をかけた額をおさめたことくらい。↓

図。

えまきも

の「絵巻物」

① 物語や伝説などを絵と文で表して巻き物にしたもの。絵巻。

えみ (笑み) ① 「にっこり」と「わらうこと」。

えみ (満面の笑み)

① 「にっこり」と「わらうこと」。

えみを浮かべる (笑みを浮かべる) ① 口元に笑みを浮かべる。

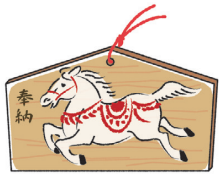
エム (M・m) ① アルファベットの十三番目の文字。② 地震の規模を表す単位「マグニチュード」を表す記号。「M」。③ 「エム判」の略。

エム判 (M判) ① 洋服などで、中位の (medium) サイズのもの。M サイズ。② S判以上。

エムパイパー (MVP) ① プロ野球などで



えほし



絵馬

で、シーズン中ゆくに、もつともかつやくした選手。また、その選手にあたえられる賞。▼ 参考 英語 most valuable player の略。

エメラルド (美しい緑色をした宝石) ① エメラルドグリーン (「明るい緑色」)。▼ 英語 emerald

えもい (エモイ) ① しみじみ感動するよ

うす。心動かされるよす。② とほほいしく感動。576 ページ・しみじみ。616 ページ・情緒。③ なつかしきを感じるよす。④ とほほいしく (郷愁)。⑤ 347 ページ・きようしゅう (郷愁)。

⑥ もの悲しいよす。⑦ 1305 ページ・もの悲しい。714 ページ・センチメンタル。299 ページ・傷的。⑧ ややくだけた言い方。⑨ 英語 emo (ロックミュージックの一種、または emotional (感情的な) から)。

えもいわれぬ (得も言われぬ) ① 運命などと

も言えない。言葉で言いあらわせない。例 得も言われぬ美しさ。

えもじ (絵文字) ① かんたんな絵によって意味を表したもの。

えもの (得物) ① 自分がうまく使いこなせる道具や武器。② 武器。道具。

えもの (獲物) ① かりやりよつてとったけものや魚などの生き物。② 動物が自分の食料としてつかまえる生き物。

えものがたり (絵物語) ① 絵を中心にした物語の本。

えもんかけ (えもん掛け) ① 着物をかけてつるしておくもの。例 ハンガー。

えひめけん

え

あいうえお かきくけこ さしすせそ

たちつてと なにぬねのはひふへほ

まみむめも やゆよらりるれろ わん



時代の七八八年に最澄が建てた寺がはじまり。最澄の死後、嵯峨天皇が延暦寺と名づけた。

えんりよ「遠慮」(名詞) ①おこないや言葉をはかえぬにすること。例 遠慮なくいただきます。②「事情などを考えて」人からの申し出を辞退すること。例 出席を遠慮いたします。

えんりよがち「遠慮がち」(連動) 人に気を使ひながら物事をするようす。例 遠慮がちに話しかける。

えんりよぶかい「遠慮深い」(形容) ほかの人に対する態度がともひかえめなようす。例 遠慮深い人。②用 えんりよぶぶかい。

えんろ「遠路」(名詞) 遠い道のり。長いきより。例 遠路はるばるやってきた。



お「**お**」(名詞) ①「ほかの言葉の上につけて」尊敬やていねいの気持ちを表す言葉。例 お手紙をください。②「お子さんはお元気ですか。③「自分の動作につけて」へりくだる気持ちを表す言葉。例 明日お宅までおとごいいたします。／わたしがお答えします。

お「**小**」(名詞) ①ある言葉の上につけて「小さい」「細かい」「少ない」などの意味を表す言葉。例 小川。

お「**尾**」(名詞) 動物のしりから細長くのびたもの。しば。例 大が尾をふる。

お「**緒**」(名詞) 糸やひもなど。細長い物。例 はおりの緒。②はき物につけて、足にかけるひも。例 げたの緒。

オアシス (名詞) ①さばくの中で、水がわき出し、草木がしげついているところ。②心のなぐさめとなるところ。いこいの場所。例 都会のオアシスともいうべき美しい庭園。▼英語 oasis

おあずけ「お預け」(名詞) ①かい犬などの前に食べ物をおいて、ゆるしを出すまで食べさせないこと。②そうするというやくそくや計画だけて、じっさいにはおこなわれないこと。例 雨がふっているの、遠足は来週までお預けになった。

おあつらえむき「おあつらえ向き」(形容) 願っていたとおりで、都合のよいようす。ちようとしてよいようす。あつらえむき。例 遠足にはおあつらえむきのいい天気だ。◎好都合。うつつけ。

おい (名詞) ①自分の兄弟や姉妹の、男の子とも。②「老」(名詞) ①年をとっていること。例 老いをわすれる。②年をとっている人。年寄り。例 老いも若きも。

おいうち「追い打ち」(名詞) 「にげていくもの」を、おいかけてつこと。また、弱った相手をさらにせめたてつこと。例 「追い打ちをかける」。

おいえげい「お家まじ」(名詞) その人のものともなる。

とくいとする芸。おはこ。(参考) もともとは、歌舞伎や能で、その家に古くからつたわる芸のこと。

おいいい「追い追い」(動詞) 「順をおって」だんだんに。しだいに。例 かわい事情をおいいい話して聞かせる。(参考) ふつう、ひらがなで書く。

おいかえす「追い返す」(動詞) やつて来た人をおかいて帰らせる。例 おとずれた人を追いかえす。◎追い払う。(活用) おいかえす。

おいかけつ「追い掛けつ」(名詞) たがいにおいかけ合うこと。例 みんなで追い掛けつをして遊ぶ。

おいかける「追い掛ける」(動詞) ①「先」に進んでいるものを、あとからおう。②「つ」のこのあとに、ますます次のことがおこる。例 追い掛けて事件がおこる。(活用) おいかける。

おいがしら「老頭」(名詞) ↓おいかんむり。おいかぜ「追い風」(名詞) 進む方向に、後ろから吹いてくる風。順風。

例 追い風を受ける。

おいかんむり「老むり」(名詞) 漢字の部首の「つ」。「老」などの上の「ま」の部分。(参考) 「おいがしら」ともいふ。



おいね【追い肥】(畜産)作物が育つとちゅうであたる肥料。追肥。(対)元肥。

おいこす【追い越す】(畜産)①おいこすこと。②前を走る車においていてから、車線をかえてその車の前に出ること。

おいこす【追い越す】(動)①前にいたものにおいて、それよりも先になる。例前の車を追いついて、それよりもまいったものになる。例努力して先輩を追いつく。②追いつく。③追いつく。

おいこす【追い越す】(動)①前にいたものにおいて、それよりも先になる。例前の車を追いついて、それよりもまいったものになる。例努力して先輩を追いつく。②追いつく。③追いつく。

おいこす【追い越す】(動)①前にいたものにおいて、それよりも先になる。例前の車を追いついて、それよりもまいったものになる。例努力して先輩を追いつく。②追いつく。③追いつく。

おいこす【追い越す】(動)①前にいたものにおいて、それよりも先になる。例前の車を追いついて、それよりもまいったものになる。例努力して先輩を追いつく。②追いつく。③追いつく。

おいこす【追い越す】(動)①前にいたものにおいて、それよりも先になる。例前の車を追いついて、それよりもまいったものになる。例努力して先輩を追いつく。②追いつく。③追いつく。

おいこす【追い越す】(動)①前にいたものにおいて、それよりも先になる。例前の車を追いついて、それよりもまいったものになる。例努力して先輩を追いつく。②追いつく。③追いつく。

おいこす【追い越す】(動)①前にいたものにおいて、それよりも先になる。例前の車を追いついて、それよりもまいったものになる。例努力して先輩を追いつく。②追いつく。③追いつく。

おいこす【追い越す】(動)①前にいたものにおいて、それよりも先になる。例前の車を追いついて、それよりもまいったものになる。例努力して先輩を追いつく。②追いつく。③追いつく。

たけ。(活用)おいしげ・る。

おいすがる【追いすがる】(動)おいかけて、体しながみつく。例なきながら母に追いつく子。(活用)おいすが・る。

おいそれと【おいそれと】よく考えないで、すぐに。かんに。例人にすすめられたからといっておいそれと買うわけにはいかない。(参考)下に「…ない」などの言葉が続く。

おいだす【追い出す】(動)おいたてて外へ出す。例ネコを外へ追いつく。(活用)おいだ・す。

おいたち【生い立ち】(名)成長してきたようす。経歴。例かわいそうな生い立ちの少年が出てくる物語を読んだ。

おいたてる【追いつてる】(動)無理においはらう。はやく行くように急がせる。②「追いつて」の形で、急がせる。せかせる。例仕事に追いつて立てられる。(活用)おいた・てる。

おいちらす【追いつ散らす】(動)追いつて散らばるようにする。例やじつまを追いつ散らす。(活用)おいちら・す。

おいつおわ【追いつ追われ】(連動)追いつたかた、おいかけられたりしながら。(活用)おいつおわれ・る。

おいつく【追いつく】(動)追いつく。例おいて追いつく。例先に出发したグループに追いついた。(活用)おいつ・く。

おいつめる【追いつめる】(動)にげるところがなくまでおいつめる。例刑事が犯人を追いつめる。(活用)おいつ・める。

おいて【おいて】(…において)の形で「…の」として。…の時に。例申しこみは会場においてつけます。②…に。…について。例外交において手腕を発揮する。

おいて【おいて】(…において)の形で「…をのぞいて」…とみながらすすめられた。ない。(活用)おいて・る。

おいて【おいて】(…において)の形で「…をのぞいて」…とみながらすすめられた。ない。(活用)おいて・る。

おいて【おいて】(…において)の形で「…をのぞいて」…とみながらすすめられた。ない。(活用)おいて・る。

おいて【おいて】(…において)の形で「…をのぞいて」…とみながらすすめられた。ない。(活用)おいて・る。

おいて【おいて】(…において)の形で「…をのぞいて」…とみながらすすめられた。ない。(活用)おいて・る。

おいて【おいて】(…において)の形で「…をのぞいて」…とみながらすすめられた。ない。(活用)おいて・る。

おいて【おいて】(…において)の形で「…をのぞいて」…とみながらすすめられた。ない。(活用)おいて・る。

おいて【おいて】(…において)の形で「…をのぞいて」…とみながらすすめられた。ない。(活用)おいて・る。

おいて【おいて】(…において)の形で「…をのぞいて」…とみながらすすめられた。ない。(活用)おいて・る。



ち。例 びっくりした顔付きの人。②「気持ちが悪かった」顔のようす。表情 例 ふしぎそうな顔付き。

かおなじみ「顔なじみ」(名詞)おたがいによく顔を知りあっていること。また、その人。

かおにでる「顔に出る」(慣用句)気持ちや体調などが表情に表れる。例 うれしさが顔に出る。

かおにとろをぬる「顔に泥を塗る」(慣用句)めいよをきずつけて、はじをかかせる。例 親の顔に泥を塗る。

かおふれ「顔触れ」(名詞)仕事や集まりなどに加わる人々。メンバー。例 いつも顔触れだ。

かおまけ「顔負け」(名詞)相手のずうずうしさやすぐれている点などを見て、あきれたり、はずかしく思ったりすること。例 まだ子どもなのに、おとな顔負けの話し方をする。

かおみしり「顔見知り」(名詞)特別親しくはないが「おたがいに顔を知っていること」。

かおみせ「顔見せ」(名詞)①大ぜいの人の前にはじめて顔を見せること。②歌舞伎などで、一座の役者がそろって顔を見せること。(参考)②は「ふうつ」「顔見世」と書く。

かおむけがでけない「顔向けがでけない」(慣用句)もつしわけなくて、その人に会うことができない。例 ゆずってもらったものをなくしてしまい、おしに顔向けがでけない。

かおもじ「顔文字」(名詞)インターネットや電子メールなどで、文字や記号を組み合わせて顔の表情などを表したものの。

かおやく「顔役」(名詞)ある仲間やある地いきで、勢力のある人。ボス。例 町の顔役。

かおり「香り」(名詞)よいにおい。例 茶の香り。↓使い分け。

かおり「薫り」(名詞)よいにおいのような感じ。例 文化の薫りがたたよう街。↓使い分け。

かおる「香る」(動詞)「よい」においがする。例 パラの花が香る。(活用) かおる。↓使い分け。

かおる「薫る」(名詞)よいにおいのように感じる。(活用)「風薫る五月」(活用) かおる。↓使い分け。

かおをあからめる「顔を赤らめる」(慣用句)はずかしくて顔を赤くする。例 話しかけられて、少年は顔を赤らめた。

かおをあわせる「顔を合わせる」(慣用句)会う。例 かれとは毎日、クラブで顔を合わせて

使い分け かおり

●鼻で感じるよいにおい。
香水の香り。

●よいにおいのような感じ。
文化の薫り。



使い分け かおる

●鼻でよいにおいを感じる。
バラの花が香る。

●よいにおいのように感じる。
風薫る五月。



かおをうつる「顔を売る」(慣用句)広く世間に知られるようにする。例 いろいろなテレビ番組

「かおじ」「かお」

①花のかおりがたたくっている。

②花のにおいがたたくっている。

③くさいごみのかおりがたたくっている。

④くさいごみのにおいがたたくっている。

右の四つの文のうち、③は正しい文ではないえませんか。かおりには、くさいにおいという意味があるからです。

「悪いかおり」「いやなかおり」(ことわざ)方法しないので注意にまじませう。

に出て、顔を売る。

かおをかす「顔を貸す」**慣用句** たのまれて人に会う。例 ちよっとそこまで顔を貸してくれ。(参考) くだけた言い方。

かおをくもらせる「顔を曇らせる」**慣用句** 心配そうな顔つきをする。表情を暗くする。例 話を聞いて、顔を曇らせた。

かおをそむける「顔を背ける」**慣用句** 「見なけてもすむように」顔を横にむける。知らないふりをする。例 そっぽをむく。

かおをだす「顔を出す」**慣用句** ①表面に出てる。例 春になると、つくしが顔を出す。②会話などにちよっと出る。例 いそがしいので、顔を出したら、すぐに帰るつもりだ。

かおをたてる「顔を立てる」**慣用句** 相手のめいよやめんばくをきずつけないようにする。

かおをつぶす「顔を潰す」**慣用句** 「世話になった人の」めんばくを失わせる。

かおをゆがめる「顔をゆがめる」**慣用句** 苦しそうな表情をしたり、いたそうな表情をしたりする。例 くるつかに顔をゆがめる。

かが「加賀」**地名** 昔の国の名。今の石川県南部に当たる。

かが「画家」**名詞** 絵をかくことを仕事にしている人。絵かき。

かがい「課外」**名詞** 学校で勉強するように決められた科目に入っていないこと。また、その授業。例 課外授業。対 正課。

かがいしや「加害者」**名詞** 他人に害を加えた人。被害者。

かかえこむ「抱え込む」**動詞** ①「大きな物」をこめてかこむようにして、しつかりと、だく。例 荷物を抱え込む。ひざを抱え込む。②「自分のふたんになるような」たくさんの仕事などを引き受ける。例 たくさんの仕事を抱え込む。

(参考) ①②とも「抱える」を強めた言い方。**活用** かかえこむ。

かかえる「抱える」**動詞** ①両手にだいて持つ。また、わきの下にはさんで持つ。例 たくさんの本を抱える。②世話をしなければならぬものを持つ。例 病人を抱えて、くらす。③人をやとう。例 社員を百人抱える。(参考) かかえる。

カカオ **名詞** アオギリ科の木。熱帯地方で育つ種はチョコレートやココアなどの原料となる。▼
英語 cacao

かかく「価格」**名詞** 物の値段。

かかく「化学」**名詞** いろいろな物質の性質や、変化のしかたなどを研究する学問。

かかく「科学」**名詞** いろいろなことごらをもかく調べ、そのつながりや原理を見つけて出し、それらを利用して生活に役立てようとする学問。サイエンス。(参考) 特に「自然科学」をいう。

かがく「雅楽」**名詞** 平安時代ごろから、宮廷でおこなわれてきた音楽。

かがく「工業」**名詞** 物質の性質が変化することを利用した工業。例 さまざまな石油製品を生み出す石油化学工業。

かがくしや「科学者」**名詞** 自然科学を研究する人。

かがくせんい「化学繊維」**名詞** パルプ・石

炭・石油などを化学的に変化させてつくったせんい。レーヨン・ナイロン・ビニロンなど。化学。人造繊維。(参考) 合成繊維。

かがくてき「科学的」**形容詞** 決まった目当てと方法によって、物事を正しく、すじ道だてて調べるよゆうす。例 物事を科学的に考える。

かがくはんのう「化学反応」**名詞** ある物質が性質のちがう別の物質になること。

かがくひりよう「化学肥料」**名詞** いおつなどの鉱物や空気の中ちっ素・酸素などを原料にしてつくる肥料。

かがくへいき「化学兵器」**名詞** 毒ガスなどのように、化学的な反応を使った兵器。

かがくへんか「化学変化」**名詞** ある物質の特性がまったく失われて、別の特性を持った物質に変わること。

かがくりようほう「化学療法」**名詞** 化学的につくった薬などを使って病気を治すちりよつ法。

かかげる「掲げる」**動詞** 高くあげる。例 旗を掲げる。②人目につくように、しめす。例 プラカードを掲げる。③新聞や雑誌などにのせる。例 意見見広告を掲げる。(参考) かか・げる。

かかし **名詞** 作物をあらす馬などをおいはらうために田畑に立てる人形。讀学 案山子。↓ 図。

かかす「欠かす」**動詞** ①しないですませる。なまける。例 一日も欠かさず散歩をする。②なくともそのままにする。ぬかす。例 朝は牛乳を欠かさない。(参考) 打ち消しの形で使われることが多い。(活用) かかす。

あいうえお かきくけこ さしすせそ



あいうえお かきくけこ さしすせそ たちつとと なにぬねのはひふへほ まみむめも や ゆ よ らりるれる わ を ん

潮。▽1243ベージ(濤潮)。

かんちよう「官庁」(名詞) おおやけの仕事をするしくみ。役所。例 官庁街(参考) 中央官庁と地方官庁がある。

かんちよう「館長」(名詞) 図書館、美術館・博物館などがつづくところで、位が一番上の人。

かんちよう「艦長」(名詞) 軍艦で、位が一番上。乗組員をひきいて指揮をする人。

かんちよう「貫通」(名詞) 通しきめること。例 新しいトンネルが貫通した。

かんづく「感付く」(動詞) それとなくわかる。気がつく。例 どうやら敵はわれわれに感付いたらしい。(参考) かんづく。

かんづめ「缶詰」(名詞) かんの中に食物を入れ、びつたりとふたをしてくさらないようにした物。例 人がある場所にとじこめて出さないこと。

かんてい「官邸」(名詞) 大臣などが住む、国でつくった建物。例 首相官邸。

かんてい「鑑定」(名詞) 「美術品やしようこの品などが、本物かにせ物か、よいか悪いかなどを見分けること。例 絵画を鑑定する。/ 鑑定書。

かんてつ「貫徹」(名詞) ある考えやおこないを、最後までつらぬき通すこと。(参考) 「初志を貫徹する」。

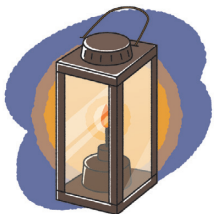
かんてふくめ「かんで含める」(慣用句) 「食べ物や一度かんでから、子どもにあたえるように」わかりやすく、ていねいに話すようす。例 かんて含めるような教え方をする。

カンテラ (名詞) ブリキ・銅などでつくった、手さげ用の石油ランプ。▽

図。▽オランダ語。

かんてん「干天」(名詞) ひてり

が続いてい夏の間。



カンテラ

かんてん「寒天」(名詞) 海そうのテングサなどをにて、こおらせ、かわかした物。また、それを水でにてもとし、かためた食べ物。みつまめなどに使う。

かんてん「観点」(名詞) 物事を見たり考えたりするときのものになる、その人の立場。例 異なる観点から発言する。

かんてん「感電」(名詞) 動物や人の体に電流がながれてショックをうけること。

かんてんち「乾電池」(名詞) 持ち運びできる小さな電池。中心の炭素のぼうが陽極(+)、まわりのあえんが陰極(-)で、その間に薬品が入れている。

かんてん「感度」(名詞) 音・光・電波などを感じるどあい。例 感度のいいラジオ。

かんてつ「完投」(名詞) 野球で、一人の投手がさいごまで投げ通すこと。例 完投勝利。

かんてつ「巻頭」(名詞) 本やまき物などの一番はじめのところ。例 巻頭の言葉 (参考) 巻末。

かんどう「敢闘」(名詞) 「力や数のちがいを気にせず、いさましくたたかうこと。例 敢闘賞」。

かんどう「関東」(名詞) 東京都と、神奈川県・千葉県・埼玉県・茨城・栃木・群馬の六県をふくむ地方。関東地方。(参考) もとは、箱根の関所から東の地方という意味。(参考) 対 関西。

かんどう「勘当」(名詞) 親・主人・師匠などが、子ども・けらい・弟子などこえんを切っておい出すこと。

かんどう「問道」(名詞) わき道。ぬけ道。例 けわしい問道をのぼる。(参考) 本道。

かんどう「感動」(名詞) 物事に強く心を動かされること。例 映画を見て感動した。(参考) 心感動。

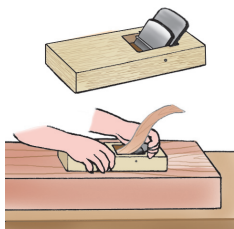
かんどう「感動詞」(名詞) 「おや」「はい」「さようなら」など、話し手の感動、よびかけ、こたえなどを表す言葉。

かんどうへい「関東平野」(名詞) 関東地方の半分以上をしめる、日本で一番大きな平野。北側と西側は山地で、東側は太平洋、南側は東京湾と相模湾にせつしている。東京をはじめ多くの都市があり、人口が多い。

かんてつ「監督」(名詞) 仕事や活動のさしずをさたり、とりしまつたりすること。また、その人。例 サッカー部の監督。/ 映画監督。

かんてつ「頑として」(副詞) ほかの人からなんといわれても、自分の考えや気持ちをつけしてかえないようす。例 どんなにたのんでも、頑として聞き入れない。

かな ①(金)板や木材の表面をけずつてなめらかにする道具。②(器)箱。



かな

カンナ

カンナ科の植物の花を見て楽しむ花カンナと、根を食用にする食用カンナがある。▼英語 canna

かない ①(管内)ある役所の仕事を管轄すること。②(管内)警察署管内。

かなづき ①(神無月)昔のごよみて十月のこと。②(かなづき)語源 日本中の神が出雲大社に集まり、ほかの国には神がいなくなるという言い伝えから。

かななんなんじをたまにす ①(かん)難なことを経験することによって、りっぱになるものだ。②(かなん)「あなた」のこと。漢字 難 難状を玉にす。

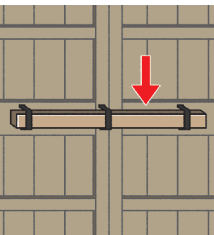
かんにさわる ①(かん)に障る(慣用句)ほかの人が言ったりしたことを、ふゆかいに感じる。例 かれはかんに障ることばかり言う。

かんにん ①(堪忍)苦しみなどをがまんすること。②(人)のあやまちをゆるすこと。かんべん。例 あんなにあやまってるのだから、もう堪忍してやれ。

カンニング ①(試験)試験のとき(人の答えをそつと見るなど)、正しくないおこないをすること。▼英語 cunning

かんにんぶくろのおがきれる ①(堪忍)袋の緒が切れる(慣用句)今までがまんしてきたが、もうこれ以上とっしてもがまんがてきなくなるこのたとえ。例 失礼な発言に堪忍袋の緒が切れた。

かんめき ①(門)戸を外からあけられないようにするため、内側にわたした横木。例 かんめきをかけ



かんめき

かんめし ①(神主)神社につかえ、神をまつる人。また、その中で一番位が上の人。

かんねつし ①(感熱紙)レシートなどに使う紙で、紙の表面の薬が熱を感じて文字などが表れるもの。

かんねん ①(観念)あるものを見たり考えたりしたとき、頭の中にうかがふ物事の形や意味。例 そんなにがいてもだめだ。観念しろ。

かんねん ①(元年)ある年号のさいしょ

の年。一年。例 明治元年。②ある物事の始まった年。例 うちゅう旅行元年。

かんねんてき ①(観念的)考え方がじつさいにあることからなれて、頭の中だけでつくり上げられているようす。例 観念的なことではなく、具体的な話をしましょう。②(現実的)かんのいり(寒の入)小寒に入ること。また、その日。一月六日ごろ。寒い時期に入ること。

かんのう ①(完納)「おさめなければならぬもの(を)残らずおさめること。例 税金を完納する。

かんのもどり ①(寒の戻り)春が来てあたたかくなったところに、急に冬がもどつたように寒くなること。

かんのん ①(観音)「観世音ぼさつ」の略。人々の苦しみをすくう、なさけいぶかいぼさつ。

かんのんびらき ①(観音開き)真ん中て、とびらが左右に開くしよみの戸。また、その開き方。



かんのんびらき 観音開き

かんば ①(看)見や

かんばん ①(寒波)冬にふつたい大気がおしよせて、気温が急に下がること。また、そのような



ことば選びのまど

をあらわすことば

感動³

物事に強く心を動かされること。

と。↓302ページ



うっとり

すばらしいものなどに気をとられて、ぼうっとしているようす。

↓133ページ

感慨³

しみじみと心に深く感じること。

と。↓293ページ

感慨無量¹

しみじみと思う気持ちで、胸がいつぱいになるようす。

↓293ページ

感極まる¹

おさえられないほど感動する。

↓295ページ

感激¹

「うれしいことや、すばらしいことがあって」はげしく感動すること。

↓296ページ

感心¹

「りっぱなことやおこないに対して」深く感動すること。

↓299ページ

感嘆¹

「すぐれた行動などに」感心して、ほめること。

↓301ページ

感銘¹

深く心に感じてわすれられないこと。

↓305ページ

ぐっとくる

「感動したり、こまったりして」言葉や息がつかまる。

↓380ページ

心に響く

心に強く感じる。↓462ページ

心を打たれる

心を強く動かされる。

↓463ページ

込み上げる

「うれしいときや悲しいときなどに」笑いやなみだ、心にある感情などをおさえられない状態になる。↓481ページ

じいごと

深く感動したときや悲しいときに、なみだが出そうになるようす。↓536ページ

染みる²

心に深く感じる。↓577ページ

胸が熱くなる

感謝や感動の気持ちがあふれる。↓1275ページ

胸が一杯になる

悲しみやよろこびなどで、胸がたまるように感じる。

↓1275ページ

胸に迫る

悲しみや感動がこみ上げてきて、胸がおさえられるように感じる。↓1275ページ

胸を打つ

深く感動させる。↓1275ページ

忘れられない

わすれることができない。

↓1407ページ

ことば選びのまど

感動

をあらわすことば

「冷ます」 ①熱いものの、温度を下げる。また、体温を平熱にする。例湯を冷まして飲む。熱を冷ます薬。②高まっていた気持ちや興味をおとろえさせる。例こころいんを冷ます。活用 さます。使い分け

「覚ます」 ①覚ます ②覚ます ③覚ます ④覚ます ⑤覚ます ⑥覚ます ⑦覚ます ⑧覚ます ⑨覚ます ⑩覚ます ⑪覚ます ⑫覚ます ⑬覚ます ⑭覚ます ⑮覚ます ⑯覚ます ⑰覚ます ⑱覚ます ⑲覚ます ⑳覚ます ㉑覚ます ㉒覚ます ㉓覚ます ㉔覚ます ㉕覚ます ㉖覚ます ㉗覚ます ㉘覚ます ㉙覚ます ㉚覚ます ㉛覚ます ㉜覚ます ㉝覚ます ㉞覚ます ㉟覚ます ㊱覚ます ㊲覚ます ㊳覚ます ㊴覚ます ㊵覚ます ㊶覚ます ㊷覚ます ㊸覚ます ㊹覚ます ㊺覚ます ㊻覚ます ㊼覚ます ㊽覚ます ㊾覚ます ㊿覚ます

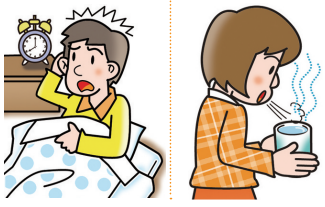
「妨げる」 ①あてもなく歩きまわる。例道にまよい、山中をさまよう。②あちこち動く。活用 さまたげる。使い分け

使い分け

● 温度を下げる。

● 湯を冷ます。

● 意識がもてる。目を覚ます。



「さみしい」 ①生死のさかいをさます。活用 さまし。使い分け

「五月雨」 ①五月雨のふるころ。活用 さみしい。使い分け

「サミット」 ①主要国首脳会議。日本・アメリカ・イギリス・フランス・ドイツ・イタリア・カナダの首相・大統領などが年に一度集まり、世界のさまざまな問題について話し合う会議。先進国首脳会議。G7。活用 さみしい。使い分け

「寒い」 ①気温の低さを体と感じる。気温が低い。例外は寒い。寒い地方。②少ない。例「ふところが寒い」(持っているお金が少ない) ③じょうだんなどがつまらない。例寒いギャグ。活用 さむい。使い分け

「寒がり」 ①寒がり。活用 さむがり。使い分け

「寒さ」 ①寒さを感じる。また、そのよくなる。特に寒さを感じる。また、そのよくなる。例暑がり。活用 さむさ。使い分け

「寒気」 ①寒気。活用 さむき。使い分け

「寒さ」 ①寒さ。活用 さむさ。使い分け

「寒々」 ①寒々とした冬の平野。活用 さむさむ。使い分け

「寒空」 ①寒空。活用 さむぞら。使い分け

「待」 ①待。活用 さむらひ。使い分け

「軟骨魚」 ①軟骨魚。活用 さむね。使い分け

「泣いた」 ①泣いた。活用 さむな。使い分け

「冷める」 ①冷める。活用 さむめる。使い分け

「覚める」 ①覚める。活用 さむめる。使い分け

「なむ」 ①なむ。活用 なむ。使い分け

「なま」 ①なま。活用 なま。使い分け

「なまなげれば」 ①なまなげれば。活用 なまなげれば。使い分け

「なまなげれば」 ①なまなげれば。活用 なまなげれば。使い分け

「なまなげれば」 ①なまなげれば。活用 なまなげれば。使い分け

「なまなげれば」 ①なまなげれば。活用 なまなげれば。使い分け

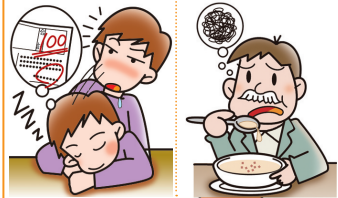
「なまなげれば」 ①なまなげれば。活用 なまなげれば。使い分け

「なまなげれば」 ①なまなげれば。活用 なまなげれば。使い分け

使い分け さめる

● 温度が下がる。
スーフが冷め

● 意識がはつきりする。
ゆめから覚め



白湯。

● 左右
① 左と右。例 左右の足。

② かわら。すぐそば。例 左右を見回す。
③ 「考えや態度が」はつきりしないこと。あまいなこと。例 かれは言を左右にして、行動しようとしなかった。

④ 強いいきようをあたえて、思うままに動かすこと。例 生き方を左右するようになってきた。

● 座右の銘
の中にためておいて「わすれないようにして」

● 言葉が「はかだち」する...

上下の漢字を入れかえると別の言葉ができることがあります。右の例は上下の漢字を入れかえても、意味がほとんどかわりません。でも、このような例は少ないのです。つぎの例でたしかめてみましょう。

まったく、別の意味の言葉になってしま

いましめとする言葉。「座右」は「座席の右」から身近などこの意味。

● 作用
かものものに働くこと。また、その力の働き。例 業の作用で、痛みがとまる。

● 作用点
働くところ。例 支点 力点 ↓ 86ページでこの図。

● さや
この言葉。さよな。例 「さやうならば」

● 左翼
鳥や飛行機などの左のつばさ。例 左右に広がった列などの左側の部分。

● 野球
本塁から見て左側の外野。レフト。政治についての考え方。世の中のしくみを急にあらためようとする考え。また、そのような考えをもっている人たちの集まり。例 左派。例 ①〜④ 右翼。

● シヤツを着る。
例 ① ②のシヤツを着る。

● あさくても平たいつわ。
た、そのような形のもの。例 「盛」盟などの漢字で「下」の「皿」の部分の名。

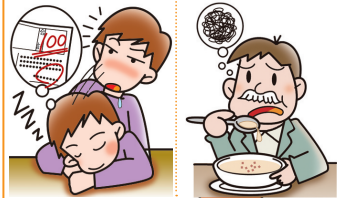
● 再来月
例 ① ②の再来月。例 ③ ④の再来月。

● 再来年
例 ① ②の再来年。例 ③ ④の再来年。

さめる

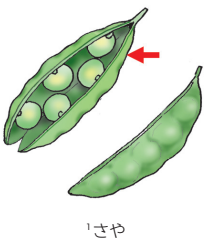
● 温度が下がる。
スーフが冷め

● 意識がはつきりする。
ゆめから覚め



さや

のなかみを
入れる、つ
つのような
おおい。
例 靴。
261ページ、刀。
(図)。



さや

● 明るくて、はつきりしているよ
うす。例 さやかにかがやく秋の月。② 音が高く
すんでよく聞こえるようす。例 さやかに聞こ
える笛の音。

さや

● 物が軽くふれ合って出る音
を表す言葉。例 ススキが風にゆれてさやさやとな
鳴る。

● 湯
漢字

あいうえお かきくけこ さしすせそ

…するの形で、自分からすばやく物事をする。
例 進んで働く。対②④⑤おくれる。活用すす・む。

すずむ ①涼む ②書さをきかけて、すずしい風にあたる。例 運動したあと、木かけて涼んだ。
活用 すず・む。

すずむし ①鈴虫 ②コオロギ科のこん虫。体の色は黒茶色。おすは、はねをすり合わせる。「リンリン」となく。草原にすんでいる。
例 人家の近くによく見られる鳥。体の色は茶色。漢字 雀。

すずめのなみだ ①すずめの涙 ②慣用句として、も少ないこと。たとえ。例 予算は、すずめの涙ほどしかない。

すずめばち ①すずめ蜂 ②コスマメバチ科のこん虫。大形のハチ。体は黒と黄のしま。強い。くのはりをもつ。漢字 雀蜂。

すずめひやくまでおどろいわすれず ①すずめ百まで踊り忘れず ②口ぐち。おさなうとときに身についた習慣は、年をとっててもわすれない。例 三つ子の魂百まで。

すすめる ①進める ②前の方向へかせる。例 車を進める。③「物事の内容やてい」を「よくする。例 合理化を進める。④はかたらせる。例 準備を進める。⑤時計のはりを動かして、正しい時刻よりも先の時刻をさすようにする。例 五分進めておく。対②③④おくらせる。活用すす・める。↓使い分け。

すすめる ①勧める ②勧誘するように、さそう。例 お茶を勧める。活用すす・める。↓使い分け。

分け。

すすめる ①薦める ②「人・物事をほめて」とりあげるようにいう。例 友だちが薦める本を読んでみた。活用すす・める。↓使い分け。

すすらん ①鈴らん ②ユリ科の植物。北海道や本州の高山にはえる。初夏、くきの先に白いつりがね形の小さな花をならべてつける。
漢字 鈴蘭。

すすり ①水を入れて、すみをする道具。石やかわらなどをつくる。漢字 硯。図。

使い分け
すすめる

●前に行かせる。
時計のはりを進める。



●そうするように入部を勧める。



●すいせんする。母が薦める本を読む。



すすりあ

上げる ①すり上げる ②鼻汁をすすり上げるように泣く。例 すり上げて泣く。活用すすり・あ。



すすり

すすりなく ①すすり泣く ②鼻汁をすすりながら泣く。例 かたをふるわせて、すすり泣く。活用すすりなく。

すすり ①すすり泣く ②すすり泣く。例 あついかかゆをすすった。③鼻汁を、息をいっしょにすすり。例 はなをすする音が聞こえる。活用すすり。

すすり ①すすり泣く ②すすり泣く。例 あついかかゆをすすった。③鼻汁を、息をいっしょにすすり。例 はなをすする音が聞こえる。活用すすり。

すせつ ①図説 ②「説明したものを」の略。説明すること。また、説明したもの。例 図説。すそ ①「裾」 ②着物の一番下の部分。↓334ページ。着物 ②「図」 ③山の下の方。例 カンテンの裾。

すその ①裾野 ②山の下もとの、ゆるやかに広がっているところ。例 富士山の裾野に広がる高原。

スター ①人気のある人。特に、人気のある俳優・歌手など。例 スター選手。▼英語 star

スターター (名詞) 競技で、出発の合図をする人。②自動車などのエンジンを、始動させるためのしかけ。▼英語 starter

スタート (名詞) 出発すること。また、出発するところ。例ランナーが、いっせいにスタートした。▼英語 start

スタートライン (名詞) (競走のときの) 出発点。スタートするところにひいた白い線。▼英語の「スタート」と「ライン」を組み合わせて日本てつった言葉。英語では starting line。

スタイリスト (名詞) ①映画や写真を撮影するとき、モデルの服装・髪形・アクセサリーなどをととのえる仕事をする人。②身なりに気をくばる、おしゃれな人。▼英語 stylist

スタイリッシュ (形容詞) 流行を取り入れているよす。品がよくておしゃれなよす。▼英語 stylish

スタイル (名詞) ①体つき。すがた。例スタイルのいい人。②服の型。例最新流行のスタイル。③文章の型・文体。参考①の「体つき」は英語にない意味。▼英語 style

スタジアム (名詞) 観客席のある運動競技場。▼英語 stadium

スタジオ (名詞) ①写真・映画・テレビなどをとつていするところ。②放送や演奏をする部屋。▼英語 studio

スタジャン (名詞) 「スタジアムジャンパー」の略。野球の選手が着ていたジャンパーが一般の人々の間で流行したもの。むねやせなかにチーム名やマーフなどが入っている。参考英語を組

み合わせて日本てつった言葉。英語では baseball jacket。

すたすた (副詞) 急いで歩くよす。例かれはふりむきませす。すたすた歩いて行った。▼英語 hurriedly

すたすた (形容詞) 細かく切れているよす。例布をすたすたに切りさく。▼英語 finely

すだつ (動詞) ①ひな鳥が大きくなつて、巣からとび立つ。②子ともが一人前になつて、父母や学校からはなれる。例子どもたちはそれぞれ道へ巣立つていく。参考すだつ。▼英語 hatch

スタックカート (名詞) 音楽で、ひとつの音を短く切つて演奏する方法。参考音符の上に「」をつけて表す。▼英語 (イタリア語から) stack cart

スタツフ (名詞) ある仕事を進めるために、手分けて仕事をうけもつ人々。参考英語では全員を指し、そのうちの一人は staff member という。▼英語 staff

すだぶる (動詞) ①修行の旅をする僧が、お経や食器などをかか入れて首に入れてふくろ。▼英語 stuff

すたすた (副詞) 急いで歩くよす。例かれはふりむきませす。すたすた歩いて行った。▼英語 hurriedly

すたすた (形容詞) 細かく切れているよす。例布をすたすたに切りさく。▼英語 finely

すたすた (動詞) ①ひな鳥が大きくなつて、巣からとび立つ。②子ともが一人前になつて、父母や学校からはなれる。例子どもたちはそれぞれ道へ巣立つていく。参考すだつ。▼英語 hatch

スタックカート (名詞) 音楽で、ひとつの音を短く切つて演奏する方法。参考音符の上に「」をつけて表す。▼英語 (イタリア語から) stack cart

スタツフ (名詞) ある仕事を進めるために、手分けて仕事をうけもつ人々。参考英語では全員を指し、そのうちの一人は staff member という。▼英語 staff

すだぶる (動詞) ①修行の旅をする僧が、お経や食器などをかか入れて首に入れてふくろ。▼英語 stuff

すたすた (副詞) 急いで歩くよす。例かれはふりむきませす。すたすた歩いて行った。▼英語 hurriedly

すたすた (形容詞) 細かく切れているよす。例布をすたすたに切りさく。▼英語 finely

すたすた (動詞) ①ひな鳥が大きくなつて、巣からとび立つ。②子ともが一人前になつて、父母や学校からはなれる。例子どもたちはそれぞれ道へ巣立つていく。参考すだつ。▼英語 hatch

スタミナ (名詞) 物事をながく続ける力。ねばり強さ。体力。例スタミナをつけるために運動する。▼英語 stamina



頭袋①

スタメン (名詞) 「スターティングメンバー」の略。試合開始のときに出場している選手。先発の選手。参考英語を組み合わせて日本てつった言葉。英語では starting lineup。

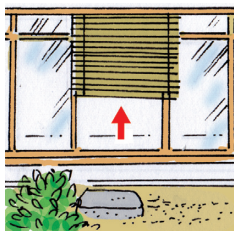
すだれ (名詞) 細くけすつた竹やあしなどを、ならべて糸であんだもの。夏などに、日の光をさえぎるのに使う。また、巻きずしなどをまく小形のものもいう。▼英語 shade

すたれる (動詞) 「廃れる」(動詞) おこなわれなくなる。使われなくなる。はやらなくなる。例こままわし、おでまなどの遊びは、近ごろすたれてしまった。活用すたれる。

スタンス (名詞) ①立場。態度。例中立のスタンス。②野球やゴルフなどで、ボールを打つときの足の開き具合。例スタンスを広くとる。▼英語 stance

スタンダード (名詞) ①標準的であるよす。②定番であるよす。例この曲はスタンダードナンバーだ。

スタンディングオベーション (名詞) コンサートなどで、観客がいっせいに立ちあがって、はく手かさいすること。スタオベ。▼英語 standing ovation



すだれ

てんかいつびん

あいうえお かきくけこ さしすせそ
てんきスタンド

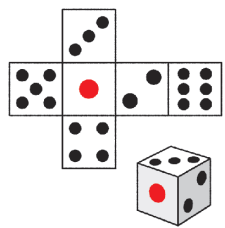
てんか

たちつてと なにぬねのはひふへほ まみむめもや ゆよらりるれるわをん

てんか いつびん

「天下」
一品

【四字熟語】仕事をする力やそのてきばえが、この世でただ



展開図

一品の味。【例】「天下」

てんかく

【一点画】漢字を形づくる点と線。【例】「田」の神をまつり豊作をいのおとりなどからはまった芸能。【田楽】「し」の略。しづふをくしにきして、みそをぬって焼いた食べ物。

てんかたいへい

「天下太平」【四字熟語】世の中が心配ごともなくおたやかなこと。また、人がのんびりしていること。

てんかのぼりつゝ

「伝家の宝刀」【慣用句】その家に代々伝わる、家宝の刀。①いつといつとだけ使う、とっておきの手段。②自由に。世間に気がねなく。【例】天下晴れて自由になる。

てんかぶつ

「添加物」【名詞】あるものに、さまざまな理由でつけ加えるほかのもの。【食品添加物】

てんから

「一から」【副詞】はじめから。頭から。

てんで。【例】天からあやしいと思った。
てんかわけめ「天下分け目」【名詞】天下をとるか、とられるかの分かれ目。勝負が決まる大切なとき。【例】天下分け目のたたかい

てんかん「転換」【名詞】方向・方針・気持ちなどをかえること。また、かわること。【例】方向を転換する。／気分転換。

てんがん「点眼」【名詞】目薬をさすこと。【例】点眼薬。

てんき「天気」【名詞】空の（変化の）様子。【例】遠足の日の天気が心配だ。↓
図. 晴れ 曇り 雨 雪
天気記号

てんき「転記」【名詞】書かれている内容を、ほかの帳簿などに書きうつすこと。【例】控えから台帳に転記する。

てんき「転機」【名詞】物事がすっかりかわるきっかけ。【例】契機。

てんき「伝記」【名詞】ある人の一生について書いた本。【例】エジソンの伝記。

てんき「電器」【名詞】電気器具の略。電灯・アイロン・テレビ・せんたく機など、電気を使った器具。【例】町の電器店。

てんき「電気」【名詞】エネルギーの一つ。火



ここは博士になろう！

伝記について

伝記の中で、その人自身が自分のことを書いたものを自叙伝（自伝）といいます。福沢諭吉の「西洋事情」、シユバツターの「わが生涯」と思想より」などは、よく知られた自叙伝です。

伝記の主人公は、文学・医学・政治・冒険・スポーツなど、いろいろな分野で活躍した人で、日本ばかりではなく、世界の偉人として有名な人物も数多く登場します。

伝記を読み、その人物の業績や生き方を知ることによって、生きていくうえで大切なことがらを、たくさん発見できるはずですよ。

力・水力などによって起こし、熱を出したり機械を動かしたりする。【例】部屋の電気をつける。

テンキー【名詞】コンピューター・計算機などで、0から9までの数字を入力するキー。【例】「10 (ten)」と「キー (keys)」を組み合わせて日本

てんき「電機」【名詞】電機機器など。【例】電

てんき「天気図」【名詞】地図の上に、同じ時刻に観測した、天気・風向・風力・気圧配置などを、記号や数字を使って書き表したものを。【例】天気図

てんきスタンド「電気スタンド」【名詞】くえの上やゆかにおいて使う、照明用の電灯。

スタンド。

てんきていひんり「電気抵抗」**①** 電線など、電流のとおりにくさの度合いを表すあた。単位は「オーム(O)」で表す。

てんきぶんか「電気分解」**①** 電解質の溶液などに電流を通して、物質を分解すること。電気めっきをするときなどにおこること。

てんきゆう「天球」**①** 地球上で見ている人を中心として考えた、天に広がるかぎりなく大きな球面。すべての天体をこの球面上にあるかのようにしめすことができる。

てんきゆう「電球」**①** 電気を流すと、光を出すようにした、ガラスのたま。**②** 白熱電球、LED電球など。↓ 1126 ページ・フィラメント**④**。

てんきよ「転居」**①** 住む家をかえること。**②** 転居のため学校をかえる。**③** 引越すこと。

てんきよ「転業」**①** 仕事をかえること。特に、商売をかえること。転職。**②** そは屋から天ぷら屋に**転業**した。

てんきよ「電池」**①** 電池などで、電流の出入り口に使う金属部分。電流の流れ出るほうがプラス、入るほうが「マイナス」。

てんきよ「天気予報」**①** 過去の現在の気象の状態から、科学的な方法で、ある場所・ある期間の天気をあらかじめ予想して発表すること。また、その発表。

てんきん「転勤」**①** つとめている会社や役所は同じ、つとめる場所が変わること。**②** 転勤は、東京に**転勤**することになった。**③** 転勤



こぼれ博士になるのー

こぼれ博士「天気予報」

昔の人々は、身の回りの自然を観察して天気を予想しました。今でも天気に関係のあることわざが数多く残っています。

- カエルが鳴けば雨がふる
 - ツバメが低くとべば雨
 - 月がかさかさをかかると雨
 - ひむりが西へかたむけば雨、東にかたむけば晴れ
 - 夕焼けにはかまをとげ(明日は晴れる)
- 昔の人々は、科学的な知識をもっていたので、これらは生活の経験からうまれました。

てんぐ「天ぐ」**①** 昔、山おくにすんでいると信じられていた、らしきな力をもった化物。顔は赤く、鼻が高く、つばさをもち、空をいこと



天ぐ①

ができる。↓ **②** じますること。また、じまをする人。**③** 「天ぐになる」**④** は、じますること。「鼻が高い」といことから。

漢字 天狗。

てんくう「天空」**①** はてしなく広がっている空。大空。**②** ジェット機が**天空**をかける。

てんくさ「天草」**①** マクサなどの、テングサ科の海そう。ところてんや寒天の原料になる。**②** 天ぐになる「天ぐになる」**③** 慣用句「ぬはれた態度をとる」**④** 大勝したので、**天ぐにな**った。

てんぐりがえし「てんぐり返し」**①** 手を地面について、前、または後ろに体を一回転すること。また、ひっくり返すこと。

てんぐりがえる「てんぐり返る」**①** てんぐり返しをする。**②** ものがかさかまになる。ひっくり返る。**③** びっくりして、心臓が**てんぐり返る**かと思った。**④** てんぐりがえる。

てんけい「典型」**①** あるものの中で、そのものもつとくちよつを、もつともよく表しているもの。**②** 例正直者の**典型**。

てんけい「典型的」**①** あるもののもつとくちよつを、もつともよく表しているようす。**②** 例あの家は、**典型的**な和風建築だ。

てんげき「電撃」**①** 電流にさわったときに受ける、はげしいショック。**②** いなずまのように、すばやくせめること。**③** 電撃作戦。

てんげき「電撃的」**①** 電撃でショックを受けたように「はつとちとくくほどとつぜんであるようす」**②** 例**電撃的**な発表。**③** 例機械を**点検**する。

てんげん「電源」**①** 発電所など、電気を

てんきていひんり

あいうえお かきくけこ さしすせそ

たちつて

なにぬの ひひふへほ まみむも や ゆ よらりるろ わをん



リッぽく【立腹】(名動)はらを立てること。例むかえが来ないことに立腹した様子だ。た。(参)やあられたまうた言い方。

リップクリーム【名】くちびるがあれないうつつけるクリーム。(参)日本でつくった言葉。英語はlip balmとつう。

リッぽう【立方】(名動)同じ数を三回かけあわせること。三乗。

目【名】長さを表す単位の前につけて「体積」の単位をつくる言葉。例二十七立方センチメートル。

リッぽう【立法】(名動)法律を決めること。(参)国会がおこなう。例574ページ。司法。ベジ・行政。

リッぽうセンチメートル【立方センチメートル】(名動)体積や容積を表す単位。一立方センチメートルは、たて・横・高さがそれぞれ一センチメートルの立方体の体積。

リッぽうたい【立方体】(名動)六つの正方形の面でかまされた立体。例663ページ。図形。(参)体積を表す単位。立方メートルは、たて・横・高さがそれぞれ一メートルの立方体の体積。

リッぽう【理詰り】(名動)どこまでもりくつだけて考えておとすこと。例理詰りの作戦。

リッぽう【律令】(名動)奈良時代・平安時代の法律。

リッろん【立論】(名動)議論のすじ道を組み立てること。また、その組み立てられた議論。

リッてい【里程】(名動)ある場所からほかの場所までの道の長さ。道のり。

リッてい【里程標】(名動)道はたなどに立てる、里を単位とする道のりが書かれた標識。

リッユース【名動】ものをつくるときの資源をへらすことや、するものを少なくすること。(参)リサイクル。リユース。英語reduce

リッてん【利点】(名動)すぐれているところ。有利な点。長所。例この本の利点は、文字が大きく読みやすいことだ。

リッとう【離島】(名動)陸地から遠くはなれた島。はなれ島。孤島。

リットマス【名動】紙をはなれること。

リットマス【名動】酸性がアルカリ性を見分けるときに使う紙。リトマス紙。(参)リトマスゴケからとった液を紙にしみこませたもの。青と赤があり、酸につけると青が赤くなり、アルカリ性の液につけると赤が青くなる。

リットルリーグ【名動】九才以上、十二才以下の少年少女の野球チームで結成されている野球の団体。英語Little League

リッアモーターカー【名動】磁気力を利用して車体をうき上がらせ、リニアモーター(一直線的に動くモーター)を使ってレールの上を高く

速く走る乗り物。(参)日本でつくった言葉。英語ではmaglev trainと呼ばれる。

リッおちる【理に落ちる】(慣用句)話がりくつぽくなる。

リッにかなう【理にかなう】(慣用句)物事の正しいすじ道に当ってはまる。例理にかなった説明。

リッきと【利にさと】(慣用句)お金をもつげることにかんして、かしくするといいうす。

リッゆう【離乳】(名動)生後五、六か月ごろから、赤んぼうに、乳以外の食物を食べさせて、だんだんと乳をのむをやめさせること。ちばなれ。例離乳食。

リッニューアル【名動】新しくする。例「新しくすること。また、改装すること。例店舗をリニューアルする。(参)英語renewalは「新しくすること、更新して日本語の改装の意味はない。

リッにん【離任】(名動)今までしていた役をやめたり、ほかの仕事についたりすること。例たんにんの先生が三月に離任することになった。

リッねん【理念】(名動)ある物事について、とつあべきかものことになる考え方。例憲法の理念。

リッノリウム【名動】ゆかやかべにはる建築材料。コルク・ゴム・樹脂などをまぜてあき布にぬり、かためたもの。英語linoleum

リッハーサル【名動】演劇・映画・放送・音楽などの「舞台げり」。下げご。練習。例リハーサルを入念におこなう。英語rehearsal

リバースシブル (名詞) 表と裏が両面とも使える布地。また、表と裏の両面が着られる衣服。**例** **リバースシブルコート**。▼英語 reversible

リバウンド (名詞) ①はねかえること。特に、バスケットボールで、シュートが入らないうちに、バスケットボールで、シュートが入らないうちに、はねかえること。また、そのボール。また、そのボールを取る人。②ダイエットや、それまで飲んでた薬を急にやめた結果、状態がもともとより悪くなったこと。③「ダイエットをやめたあとにもよる」というのは日本での使い方。▼英語 rebound

りはつ(利発) (名詞) かしこいこと。**例** **りはつな子ども**。◎賢明。

りはつ(理髪) (名詞) 髪の毛をかり、きれいにするのさげ。◎例 **理髪店**。◎調整。

リハビリ (名詞) ↓リハビリテーション。

リハビリテーション (名詞) 病気やけがによって体が不自由になった人の機能をもとに戻すための訓練。◎略して「リハビリ」ともいう。英語では略して rehab ともいう。▼英語 rehabilitation

リピーター (名詞) 同じ店・旅館・観光施設・商品などをくり返して利用する客。**例** **リピーター**をいやすことが、売り上げ増のひけつだ。

◎英語の repeater からだが、英語ではいろいろ repeat customer [visitor] などという。

リピート (動詞) くり返すこと。**例** 先生の後について発音を **リピート** する。◎音楽の曲の一部、または全部をくり返すこと。またその記号。▼英語 repeat

あごつかお かきくわいせしせそ

リビング (名詞) 居間。茶の間。◎英語の「リビングルーム」の略。

リフォーム (名詞) ①古くなった衣服などに手を加え、新しいものにつくり直すこと。②建物などの改築・増築・改装をすること。◎日本の使い方。英語で reform は「改革する」の意味。服の作り替えは remake、改築・改装は remodel, refurbish ともいう。

りばつ(理不尽) (名詞) 物事のすじがとおらぬこと。また、無理をおしとおせつとすること。**例** 理不尽なふるまい。

リフト (名詞) 荷物などのあげおろしに使う機械。昇降機。

◎スキ場などで、人をすわらせて低いところと高いところの間を運ぶしかけ。スキーリフト。▼英語 lift

リフレッシュ (名詞) 気分を変えて、元気になること。元氣回復。**例** **リフレッシュ** 休暇。▼英語 refresh

リンドース (名詞) 牛の肉で、かたからこの間(うづ)骨のあたり)からとれる肉。◎参照 アメリカでは Rib eye roll(リブマヨール)または Rib eye(リブアイ)ともいう。▼英語 rib roast

リベート (名詞) 支払い代金の一部を、支払った



リフト②

人に、お礼などの形で返すこと。わりもどし。◎参照 英語の rebate からして、これはメーカーや販売店が購入者におこなう割戻金もいうが、ふつうは税金・家賃などで払い過ぎた分の払戻金をいう。お礼としてこそり渡すお金は kick-back ともいう。

リベック(離別) (名詞) 人と別れること。特に親しくしていた人と別れること。**例** かれは子どものときに父親と離別したそつだ。

リベンジ (名詞) 復讐しゅう。しかえし。また、もう一度ちよせんして、くやさをはらすこととする。◎参照 英語の revenge は、危害を加えた相手に復讐すること、試合に負けた相手に次に勝つてくやさをはらす、という意味はほとんどない。

リポート (名詞) ↓1389ページ・レポート。

リボン (名詞) かざりにする、はばのせまい布。テープのようにしたひも。また、それを結んだかざり。▼英語 ribbon

りまわり(利回り) (名詞) 元金に対する利息などのわりあい。**例** **利回り** がいい。

リマンカリー (名詞) リマン海流。◎参照 日本海を流れる海流の一つ。オホーツク海からアジア大陸にそって南に流れる寒流。↓230ページ・海流。◎参照

リム (名詞) ①自転車や自動車の、タイヤをはめこむ輪の部分。②めがねのふち。▼英語 rim

りめん(裏面) (名詞) ①ものうら側。うら側の面。◎物事の、おもてにあらわれない部分。また、あまり人に知られていない部分。◎政界の裏

あごつかお かきくわいせしせそ

早覚え

百人一首

上の句と下の句の組み合わせを早く覚える方法をしようかいたします。



覚え方

上の句の出だしの音ごとに覚えましょう。

上の句の**色文字**までで、どの歌が決まります。(色文字を「決まり字」といいます。)

例 **むらさめの** (村雨の) 露もまだ干ぬまきの葉に **霧立ち昇る秋の夕暮れ**

上の句

下の句

決まり字

「む」で始まるのはこの歌だけなので、「む」と聞けば下の句は「ぎりたちのぼる…」だとわかります。

一枚、上の句が**むすめふさほせて**始まる歌は**一首ずつ**しかありません。

むらさめの (村雨の) 露もまだ干ぬまきの葉に 霧立ち昇る秋の夕暮れ
 すみのえの (住の江の) 岸に寄る波よるさへや 夢の通ひ路人目よくらむ
 めぐりあひて (めぐり逢ひて) 見しやそれとも分かぬ間に 雲隠れにし夜半の月かな
 ふくからに (吹くからに) 秋の草木のしをるれば むべ山風をあらしと言ふらむ
 さびしさに (寂しさに) 宿を立ち出でてながむれば いづこも同じ秋の夕暮れ
 ほとぎす鳴きつる方をながむれば ただ有明の月ぞ残れる
 せをはやみ (瀬を早み) 岩にせかるる滝川の われても末に逢はむとぞ思ふ

二枚

上の句が う つ し も ゆ で 始まる歌は二首ずつあります。

う

うかりける (憂かりける) 人をはつせの山おろしよ
うらみわび (恨みわび) 干さぬ袖だにあるものを
つきみれば (月見れば) 千々に物こそ悲しけれ
つぐばねの (筑波嶺の) 峰より落つるみな川の
しのぶれど (忍ぶれど) 色に出でにけり我が恋は
しらつゆに (白露に) 風の吹きしく秋の野は 貫きとめぬ玉ぞ散りける

し

もしきや古き軒端の忍ぶにも なほ余りある昔なりけり
もろともにあはれと思へ山桜 花よりほかに知る人もなし
ゆふされば (夕されば) 門田の稲葉おとつれて
ゆらのとを (由良のとを) 渡る舟人かちを絶え

ゆ も し つ う

あしのまる屋に秋風ぞ吹く
行方も知らぬ恋の道かな

三枚

上の句が い ち ひ き で 始まる歌は三首ずつあります。

い

いにしへの奈良の都の八重桜 今日九重にほひぬめるかな
いまこむと (今来むと) 言ひしばかりに長月の 有明の月を待ち出でつるかな
いまはただ (今はただ) 思ひ絶えなむとばかりを 入つてならで言ふよしもがな

ち

ちぎりおきし (契りおきし) させもが露を命にて あはれ今年の秋もいぬめり
ちぎりきな (契りきな) かたみに袖をしぼりつつ 末の松山波越さじとは
ひさかたの (久方の) 光のどけき春の日に 静心なく花の散るらむ

ひ

ひとはいさ (人はいさ) 心も知らず古里は 花ぞ昔の香にほひける
ひとをし (人もをし) 人も恨めしあちきなく 世を思ふゆゑに物思ふ身は

ことばと文字の学習

ことばの種類やきまりについて学んでいきましょう。



1 世界のことばと文字

わたしたちのすんでいる地球には、二〇〇近い国々があります。しかし、世界でつかわれていることばの種類はそれよりもはるかに多く、三〇〇〇から八〇〇〇種類はあると考えられています。日本人は、当たり前のこととして日本語をつかっていますが、一つの国の中でいくつものことばがつかわれていることも多くあります。

いくつものことばがつかわれている国では、政治・経済などおおよげの場でつかう公式のことばがさだめられています。これが公用語です。公用語は一つだけとはかぎりません。たとえばスイスでは、ドイツ語・フランス語・イタリア語・ロマンス語の四つが公用語です。

世界で今つかわれている文字の種類は、およそ五〇です。ことばの数に比べて文字の種類が少ないのは、一種類の文字が数多くのことばを書きあらわすのにつかわれているからです。

2 ことばの種類とことばのなりたち

同音語・同訓語

① イガイ

- ・意外なできごと。
- ・四年生以外の児童。

② キカン

- ・夏休みの期間にしらべる。
- ・胃や腸は、消化器官だ。

③ たつ

- ・いすの上に立つ。
- ・新しいマンションが建つ。

①・②の——線部は同じ音読みですが、ことばはちがいます。このように、ちがうことばは音読みが同じものを「同音語(同音異義語)」といいます。

同音語には、①のように一字ことなるもの、②のように二字ともことなるものの二種類があります。

漢字には、同じ音読みのものが多くあるため、漢字を組み合わせる二文字熟語に、こうした同音語がうまれるのです。③は、漢字がちがっても訓読みが同じ「同訓語」の例です。

同訓語は、同音語にくらべると数はそれほど多くありません。同音語や同訓語を正しく書き分けるには、漢字のもつ意味と文中での意味とをむすびつけて判断することがたいせつです。

類義語

意味がほぼ同じだったり、よくていたりすることばを「類義語」といいます。

意外 心配 不安 改新 改革
 人望 人気

このような類義語をつかうときに気をつけたいのは、意味がにているからといって、どんなばあいでも、同じようにつかえるとはかぎらないということです。

○先生は人気がある。
 ○先生は人気がある。
 ○先生は人気がある。

○きれいな人
 ○きれいなぞうきん
 ○美しい人
 ○美しいぞうきん

「人気」「人望」のばあい、どちらにも「多くの人の間でひょうばんになっている」という意味がありますが、「人望」には、さらに「人として尊敬され、信らわされている」という意味もくわります。「美しい」「きれいな」という意味では、「見すべらしい」のほかに「清潔だ」の意味もあります。

反対語(対義語)

「この荷物は軽い。」
 「この荷物は重い。」
 「軽い」「重い」のように、たがいに反対の意味をあらわすことばを「反対語(対義語)」といいます。

① 動作をあらわすことばの反対の例

・上がる ↓ 下がる
 ・乗る ↓ 降りる
 ・着る ↓ ぬぐ
 ・出る ↓ 入る

② ようすをあらわすことばの反対の例

・厚い ↓ うすい
 ・熱い ↓ 冷たい
 ・深い ↓ 浅い
 ・短い ↓ 長い

③ 二字熟語の反対の例

〈二字だけちがう〉
 ・輸入 ↓ 輸出
 ・善人 ↓ 悪人
 ・集合 ↓ 解散
 ・開店 ↓ 閉店
 ・有料 ↓ 無料
 ・拡大 ↓ 縮小
 ・得意 ↓ 苦手

多義語

① このあめはあまい。…あまい味がする。
 ② 子どもにあまい親。…たいどがきびしくない。
 ③ ピントがあまい。…びつたり合わない。
 ④ ①②③の「あまい」の意味は、みなちがいます。このように、一語でいろいろな意味をもつことばを「多義語」といいます。文章とともに、使い分けをおぼえましょう。

擬声語・擬態語

① ・戸をトントンたたく。
 ・戸をドンドンたたく。

して、国際協力をおしすすめる機関。

UNESCO (ユネスコ) United Nations Educational, Scientific and Cultural Organization → 本文「ユネスコ」

UNF United Nations Forces 国連軍。国際連合軍。国際間の平和と安全を保つために国際連合が組織する軍隊。

UNFPA United Nations Fund for Population Activities 国連人口基金。国際連合人口基金。開発途上国の人口問題を支援するための機関。

UNHCR United Nations High Commissioner for Refugees 国連難民高等弁務官事務所。国際連合難民高等弁務官事務所。戦争などで難民や避難民となった人々の保護と支援をおこなう機関。

UNICEF (ユニセフ) United Nations Children's Fund → 本文「ユニセフ」

UNSC United Nations Security Council → 本文「あんぜんほしょうりじかい」

UNU United Nations University → 本文「くれんだいがく」

URL uniform resource locator インターネット上で、個々のホームページに割り当てられたアドレス。

USA → 本文「アメリカがしゅうこく」

USB Universal Serial Bus パソコンと、プリンターやスピーカーなどの周辺機器をつなぐ規格の一つ。

USMCA the United States-Mexico-Canada Agreement アメリカ・メキシコ・カナダ協定。NAFTAに代わる貿易協定。

UV ultraviolet 紫外線。

VHF very high frequency 超短波。メートル波。周波数30~300メガヘルツの電波。テレビやFM放送、アマチュア無線、鉄道などの移動無線通信などに利用。かつてテレビの地上アナ

ログ放送にも使われた。→UHF

VICS (ビックス) Vehicle Information and Communication System 道路交通情報通信システム。道路工事や交通渋滞をカーナビゲーションやラジオで伝えるしくみ。

VIP (ビップ) → 本文「ビップ」

vol. (ボリウム) volume 本などの「巻」。Vol.1は第1巻をさす。

vs. (バーサス) versus → 本文「フイエス」

VTR → 本文「ビデオテーブルコーダー」

WC ①water closet トイレ。手あらい。②World Cup → 本文「ワールドカップ」

WHO World Health Organization → 本文「せかいほけんきかん」

WIPO (ワイポ) World Intellectual Property Organization 世界知的所有権機関。特許・商標・著作権などの知的所有権を保護するための国際的な機関。

WSSD World Summit on Sustainable Development 持続可能な開発に関する世界首脳会議。2002年に南アフリカのヨハネスブルグでおこなわれた。

WTO World Trade Organization 世界貿易機関。GATTに代わり、ウルグアイラウンドで合意した、自由貿易を進めるためのいろいろな協定を管理・運営する国際機関。1995年設立。

WWF World Wide Fund for Nature 世界自然保護基金。地球温暖化防止、野生生物の保護、自然資源や環境保全活動をする世界的な機関。

WWW World Wide Web インターネット上で公開されている情報を提供するシステムの一つ。ワールドワイドウェブ。単にWeb (ウェブ)ともいう。

X線 X-Strahlen (ドイツ語) 英語はX rays。

→ 本文「エックスせん」

アルファベット略語集 S-U

ピークル。レジャー用の車。多くは四輪駆動。
ワンボックスカー、ステーションワゴンなど。

SA → 本文「サービスエリア」

SARS (サーズ) Severe Acute Respiratory Syndrome 重症急性呼吸器症候群。新型肺炎。38度以上の急な発熱や、せき・息切れ・呼吸が苦しいなどの呼吸器の症状が出る。

SDGs (エスディーゼズ) Sustainable Development Goals 持続可能な開発目標。2015年9月の国連サミットで採択された17のゴール・169のターゲットからなる、2030年までに持続可能でよりよい世界を目指す国際目標。「誰一人取り残さない (leave no one behind)」ことを誓っている。

SE system engineer システムエンジニア。コンピューターのシステム設計・分析にあたる技術者。

SF science fiction → 本文「エスエフ」

SFX special effects 映画で、特殊効果をねらった撮影方法。

SL steam locomotive → 本文「エスエル」

SOS → 本文「エスオーエス」

SP Security Police 重要な人物を守りけいびする警察官。

TB terabyte テラバイト。情報量の単位。1ギガバイトの1024倍。

TGV Train à Grande Vitesse (フランス語) フランスの超高速列車。

TKO technical knockout → 本文「テクニカルノックアウト」

TOEFL (トーフル, トイフル) Test of English as a Foreign Language 英語を母語としない人々の英語能力を測定するテスト。

TOEIC (トエイック) Test of English for International Communication 国際コミュニケーション英語能力テスト。英語を母語としない

人々の英語によるコミュニケーション能力を測定する。

TPO → 本文「ティーピーオー」

TPP Trans-Pacific Partnership 環太平洋パートナーシップ協定。はば広い分野で関税を完全になくそうという、自由貿易協定。

T-REX (ティーレックス) Tyrannosaurus Rex (ラテン語・英語) ティラノサウルス・レックス。ティラノサウルス。中生代後期の白亜紀に栄えた巨大な肉食恐竜の一種。

TSマーク 道路交通法の基準に合った自転車に付けられる保険付きの安全マーク。Tはtraffic (交通), Sはsafety (安全) の頭文字から。

TV television テレビ。

Uカー used car ユーズドカー。中古車。

UAE United Arab Emirates アラブ首長国連邦。

UFO (ユーフォー) Unidentified Flying Object → 本文「ユーフオー」

UHF ultrahigh frequency 極超短波。デシメートル波。周波数300~3000メガヘルツの電波。テレビの地上デジタル放送やタクシーなどの移動無線通信などに利用される。⇨VHF

UN United Nations → 本文「こくさいれんごう」

UNC United Nations Charter 国連憲章。国際連合憲章。国連の目的・原則・機能などを定めた、国連の活動の基本となる文書。

UNCTAD (アンクタッド) United Nations Conference on Trade and Development 国連貿易開発会議。国際連合貿易開発会議。開発途上国の経済をゆたかにするため、貿易と投資を利用できるようにすることなどを目的とする機関。

UNEP (ユネップ) United Nations Environment Programme 国連環境計画。国際連合環境計画。持続可能な開発の中で、環境活動を調整